

学校案内



# 東京都立志村学園

肢体不自由教育部門 小学部・中学部・高等部



個々の障害の状態等に応じた  
専門的な教育を推進します

## 教育目標

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性等に応じた専門的な教育を推進するとともに、個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育み、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

### 【肢体不自由教育部門の教育目標】

健康や体力、確かな学力、豊かな人間性など生きる力を養い、地域社会の一員として、主体的に自立・社会参加し、生涯にわたって心豊かに生きていく人間を育成する。

- ア 健康な体と豊かな心を養う。
- イ 自ら学び、自ら考え、積極的に行動しようとする意欲や態度を育てる。
- ウ 障害による学習上又は生活上の困難を克服し、自立・社会参加に必要な知識・技能・態度を養う。
- エ 豊かな情操を育み、社会性や規範意識を養う。
- オ 社会の一員としての自覚を育て、進んで自立・社会参加する意欲や態度を養う。

## 校訓

**継続は力なり**

“今、自分にできること” “今、自分がすべきこと”  
を誠実に積み重ねることを大切にします。

## 基本方針

### ◎ 個々の教育ニーズに対応します

#### 1：児童・生徒の障害等に応じた3つの教育課程を編成します

「自立活動を主とする教育課程」「知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程」「小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行う教育課程」 ※通学が困難な児童・生徒には訪問教育を実施します。

#### 2：専門家と連携して、指導力を高めます

医療機関、大学、就労支援機関等の専門家と連携しながら、各教科や自立活動等の指導の充実を図ります。児童・生徒一人一人の障害の状態や発達段階等を的確に把握し、個別指導計画に基づく指導と評価を行います。

#### 3：支援ネットワークの構築に取り組みます

高等部卒業後の生活の質の向上を目指して、在学中から、教育・医療・福祉・労働等の関係機関と連携し、支援を得ながら地域で安心して生活できる環境をつくります。関係機関との連携には、学校生活支援シート（個別の教育支援計画）・個別移行支援計画等の資料を活用します。

#### 4：キャリア教育・進路指導の充実を図ります

関係機関等との連携を図り、計画的・組織的にキャリア教育を進めて、就労、福祉就労、福祉施設等での活躍等、一人一人が希望する生活の実現に努めます。「準ずる教育課程」では、大学進学にも対応します。

小学部から、コンピュータ等のICT機器や支援機器、補助具、支援技術等を活用して指導します。

### ◎ 特別支援教育のセンター的機能を発揮します

就学前施設・小・中・高等学校に在籍する支援の必要な児童・生徒に、専門性を活かした支援を行います。

○3つの教育課程ごとに学習グループを編成します。

小学部

中学部

高等部

### 「自立活動を主とする教育課程」のコース

- 障害が重い児童・生徒の教育ニーズに対応した教育課程です。
- 「自立活動」には、①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成 ④環境の把握 ⑤身体の動き ⑥コミュニケーションの区分があり、個々の実態に応じて、指導の目標と内容を設定して授業を行います。

### 「知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程」のコース

- 知的障害特別支援学校の各教科等の目標・内容の一部や、各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせた授業を行うことができる教育課程です。
- 日常生活に活かせる様々な技能を身に付けたり、自立への態度を育てたりする学習を行います。中学部からは作業学習を行います。

### 「小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行う教育課程」のコース

- 小・中・高等学校に準ずる教育を行い、大学進学のための要件を備えている教育課程です。
- 上級学校への進学や、企業就労の希望に対応していきます。

自立と社会参加

## ●スクールバス

全14コースです。

- ①豊玉コース      ②桜台コース      ③北町コース      ④三園コース      ⑤高島平コース
- ⑥新河岸コース      ⑦舟渡コース      ⑧浮間コース      ⑨赤羽コース      ⑩上板橋コース
- ⑪宮本町コース      ⑫東新町コース      ⑬羽沢コース      ⑭成増コース






## 時間割の一例

小学部 1年生 『自立活動を主とする教育課程』 前期 1単位時間：45分					
	月	火	水	木	金
8:40	登校				
8:45	学級朝の会				
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
2	自立活動	自立活動	生活単元学習	自立活動	音楽
3	自立活動	体育	生活単元学習	遊びの指導	音楽
11:30	日常生活の指導				
12:00	給食				
12:30	休憩				
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	学級帰りの会 1便出発	図工	学級帰りの会 1便出発	学級帰りの会 1便出発	志村タイム
6		図工			特別活動
7		日常生活の指導			日常生活の指導
15:30	学級帰りの会				
15:40	下校				
15:45	2便出発				

中学部 1年生 『知的障害を併せ有する生徒の教育課程』 前期 1単位時間：50分					
	月	火	水	木	金
8:40	登校				
8:45	学級朝の会				
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	国語	数学	国語	数学	自立活動
2	美術	生活単元学習	生活単元学習	保健体育	作業学習
3	美術	生活単元学習	生活単元学習	保健体育	作業学習
11:45	給食				
12:15	休憩				
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	数学	自立活動	総合的な学習の時間	自立活動	国語
6	音楽	職業・家庭	特別活動	外国語	自立活動
7	日常生活の指導	日常生活の指導	志村タイム	自立活動	志村タイム
15:30	学級帰りの会				
15:40	下校				
15:45	2便出発				

高等部 1年生 『準ずる教育課程』 前期 1単位時間：50分					
	月	火	水	木	金
8:40	登校				
8:45	学級朝の会				
1	芸術Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ
2	芸術Ⅰ	体育	ホームルーム活動	社会と情報	国語総合
3	国語総合	体育	保健	社会と情報	国語総合
11:45	給食				
12:15	休憩				
4	コミュニケーション英語Ⅰ	現代社会	総合的な探究の時間	産業社会と人間	理科基礎
5	国語総合	家庭基礎	数学Ⅰ	英語表現Ⅰ	理科基礎
6	自立活動	家庭基礎	自立活動	英語表現Ⅰ	現代社会
15:30	学級帰りの会				
15:40	下校				
15:45	2便出発				

### 時間割の に注目

-  小学部 1年生は、週3回1便下校の時間割からスタートします。学年進行で授業時間が増えて、2便下校の回数が増えます。
-  「日常生活の指導」や「生活単元学習」では各教科等の内容を合わせて指導します。時間割の前後の教科と関連付けたり、年間を通じて他の教科等と関連付けて指導します。
-  中学部、高等部の「知的障害を併せ有する生徒の教育課程」では、「作業学習」を行います。オフィス事務や校内環境整備等の作業活動を通して、働く態度、協力する態度、自立する気持ちを育てます。接遇マナーなども学びます。
-  高等部の「準ずる教育課程」では、学習や生活の質を高めるために、教科「情報」の学習をします。2年次以降は「パソコン演習」「キャリア演習」等の学校設定教科の履修が可能で、ICT機器等を活用して学び、生活する能力の向上を図ります。また、第2学年から「進学重点類型」と「総合ビジネス類型」の二つの類型に別れて大学進学と企業就労等に対応します。
-  「自立活動」の「時間の指導」を、週2コマ、全ての教育課程で実施します。

#### 【スクールバス下校便の呼称について】

- 1便 13：50 学校出発の下校便のこと
  - 2便 15：45 学校出発の下校便のこと
- 時間割には記載していない下校便  
○午前便 11：40 学校出発の下校便のこと

本校は二学期制です。（前期4月～9月、後期10月～3月）

本校の主な行事 ● 文化祭 ● 宿泊行事 ● 宿泊防災訓練 ● 社会見学等

## 施設設備 充実した施設設備での多彩な教育活動



- 校内デザインは、階や教育部門のゾーンごとに色分けをして、位置情報を示します。ピクトグラム（シンボル等）による表示を工夫して、避難経路や教室への動線を分かりやすくしています。
- 快適に生活するため、空調・加湿・照明等の最新設備を整えています。
- 特別教室を充実させ、多彩な教育活動を行えるように工夫しています。

## 学習環境の整備 情報を分かりやすく伝え合う工夫

### 1：見て分かりやすい学習環境づくり

一人一人に分かりやすく情報を伝えるため、ディスプレイでの表示、背景の整理、コントラスト等を工夫し、見て分かりやすい学習環境を整えています。

### 2：支援機器の効果的な活用

意思表示とコミュニケーションの可能性を広げ、理解を助けるために、個に応じた教材を作成したり、支援機器を活用したりします。パソコンや携帯端末での入力等の支援を行って、大学進学や就労の希望に応えます。



## 学校生活の様子

児童・生徒のニーズに応じて、様々なテーマを設定して学習します。  
教材・教具を工夫して体験的な学習となるような授業が行われています。

### 小学部



体育

### 中学部



美術



生活単元学習



音楽

### 副籍制度



都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区市町村立小・中学校（地域指定校）に副次的な籍を置き、直接的・間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持や継続を図ります。

本校では地域指定校と協働しながら、お互いの学校の児童・生徒にとって有意義な活動になるよう進めています。

本校では地域指定校と協働しながら、お互いの学校の児童・生徒にとって有意義な活動になるよう進めています。

### 部活動

「運動部」として活動しています。毎年行われる、東京都障害者スポーツ大会と東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会への出場に向けて活動しています。



また、パラリンピック種目である「ボッチャ」の活動にも力を入れ、競技大会にも参加します。

## 高等部

卒業後の進路先を決定するため現場実習や進路学習を行います。



全ての教育活動を通して、ICT機器等の活用と分かりやすく情報を伝えることに取り組んでいます。社会に出る前に自分に合ったコミュニケーション方法を整えていきます。



## 訪問学級



学校に通学できない児童・生徒のために訪問学級があります。自宅や病院に、訪問担当の教員が訪問し、授業を行います。

通学している児童・生徒のように、始まりの会、身体の手組み、自立活動（みるきく）、国語、音楽、図画工作・美術、生活単元学習などの活動を行います。教科の学習をしている児童・生徒もいます。

入学式・卒業式、始業式・終業式、自立活動訪問、スクーリング、夏休みには夏季訪問があります。

## 自立活動

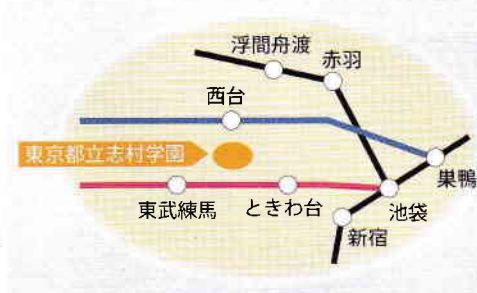


自立活動指導員（外部専門家を導入しています。運動・動作の取り組みの指導を行う理学療法士（PT）や、見る機能の評価と指導を行う視能訓練士（ORT）、言語聴覚士（ST）等のアドバイスを受け日々取り組んでいます。



# 志村学園

## ● 学校の場所・アクセス



- ◆都営三田線「西台」駅より 徒歩15分  
もしくは国際興業バス「東武練馬駅」行き（乗車4分）「西台一丁目」下車 徒歩3分  
もしくは国際興業バス「赤羽駅西口」行き（乗車4分）「西台交差点南」下車 徒歩4分
- ◆JR京浜東北線・埼京線「赤羽」駅西口より  
国際興業バス「高島平操車場」行き（乗車25分）「西台交差点南」下車 徒歩3分  
もしくは国際興業バス「成増駅北口」行き（乗車20分）「西台交差点」下車 徒歩10分
- ◆東武東上線「東武練馬」駅より  
国際興業バス「浮間舟渡駅（西台駅経由）」行き（乗車9分）「西台一丁目」下車 徒歩3分
- ◆西武池袋線・都営大江戸線「練馬」駅より  
国際興業バス「赤羽駅西口」行き（乗車25分）「西台公園」「志村消防署」下車 徒歩10分
- ◆地下鉄有楽町線・副都心線「平和台」駅より  
国際興業バス「赤羽駅西口」行き（乗車8分）「西台公園」下車 徒歩8分
- ◆JR埼京線「浮間舟渡」駅より  
国際興業バス「東武練馬駅」行き（乗車16分）「西台一丁目」下車 徒歩3分
- ◆東武東上線「ときわ台」駅より  
国際興業バス「志村三丁目」行き（乗車11分）「志村消防署」下車 徒歩10分
- ◆東武東上線「成増」駅北口より  
国際興業バス「赤羽駅西口」「志村三丁目」行き（乗車20分）「西台交差点」下車 徒歩10分

## ● 通学区域

### ● 板橋区

相生町 赤塚 赤塚新町 小豆沢 泉町 大原町 上板橋 小茂根3～5丁目 坂下 桜川 志村 新河岸 高島平  
大門 東新町 常盤台 徳丸 中台 成増 西台 蓮根 東坂下 東山町 富士見町 舟渡 前野町 三園 南常盤台  
宮本町 四葉 若木

### ● 練馬区

旭丘 北町 小竹町 栄町 桜台 豊玉上 豊玉北1～4丁目 豊玉中1～2丁目 豊玉南1～2丁目 錦 羽沢  
早宮1～2丁目 氷川台 平和台

### ● 北区

赤羽3丁目 赤羽北 赤羽台3～4丁目 浮間 桐ヶ丘

## 【問い合わせ先】

## 東京都立志村学園

〒174-0045 東京都板橋区西台一丁目41番10号

電話 03-3931-2323 (代) ファクシミリ 03-3931-3366

ホームページ <http://www.shimuragakuen-sh.metro.tokyo.jp>



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。